

東建パブリニュース

平成29年 1月11日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年 1月 2日 全国賃貸住宅新聞 P. 27

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポレーション

木造アパートで最高レベルの遮音床開発 2×4工法のアパートに導入予定

東建コーポレーション（愛知県名古屋市長）は、木造賃貸住宅では最高レベルの「LH-50」を実現した高遮音床を開発した。

床下の受け材に防振ダンパーを配置することで、物の落下音や、人が跳びはねるときの床の振動を吸収する。また天井に使用する防振吊木が1階に伝わる騒音や振動を低減するという。

「TKS-50」を實現する苦情が多いことから重量衝撃音に対する遮音性能を上げ、快適な生活を提供しようと開発にいたったという。同社の2×4（ツーバイフォー）工法の商品に標準仕様している「TKS-55」と比べて防振ダンパーの数を増やし、床根太をシングルからダブルにするなどして遮音性を向上させたという。「TKS-55」につづき、「TKS-50」も特許取得した。

バリアフリーアパート「2×4・ユニヴァーライ」のオプションとして今月中旬に販売する予定。導入費は標準に比べ、1・5%増となるという。今後順次、2×4工法的全シリーズでも、オプションとして提供する予定だ。

▲防振ダンパーを増やし、床根太もダブルとした

▲平成 29 年 1 月 2 日 全国賃貸住宅新聞 P. 27

以上